

第33回

2大会同時開催

2022 東京都トライアスロン選手権大会

(2022日本トライアスロン選手権東京港大会東京ブロック代表選考会)

(いちご一会とちぎ国体2022トライアスロン競技東京都代表選考会及び新潟県・長野県代表選考会)

2022 東京都トライアスロン渡良瀬大会

(2022JTUTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ)



開催日 2022年6月19日(日)

開催地 渡良瀬遊水地(群馬県邑楽郡板倉町)

主催 一般社団法人 東京都トライアスロン連合

後援 東京都、(公財)東京都体育協会、
板倉町、板倉町教育委員会、
(公社)日本トライアスロン連合

写真提供協力：オールスポーツコミュニティ

 **JAPAN
TRIATHLON**
**AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES**

大会プログラム

みなさまから愛され続ける 歌舞伎揚

日本の古典演劇歌舞伎とせんべい。
この両方の伝統文化を伝えたいという思いから
歌舞伎揚が誕生しました。一九六〇年の発売以来、
皆様に愛され続ける歌舞伎揚。
ずっとずっと、これからも愛されるために
変わらぬ「おいしさ」に「ありがとう」の
気持ちを込めて一生懸命、作り続けます。



天乃屋は
トライアスリートの皆様を応援しています。

天乃屋
A M A N O Y A

大会プログラム CONTENTS

ごあいさつ	P2. P3
大会概要・大会役員・スタッフ	P4
その他	P5
選手権大会競技説明	P6
選手権大会コース図	P7
渡良瀬大会競技説明	P8
渡良瀬大会コース図	P9
トランジションエリア周辺図	P10. P11
出場選手スタートリスト	P12~15P

東京都トライアスロン選手権大会

渡良瀬大会へのご参加とご協力に深謝いたします。

大会会長

一般社団法人東京都トライアスロン連合 会長 大村 真人

「第33回2022東京都トライアスロン選手権大会兼2022東京都トライアスロン渡良瀬大会」の開催にあたり、ご参加いただく選手の皆様、本大会へのご理解・ご協力をいただいている群馬県邑楽郡板倉町をはじめとするすべての関係者の皆さまに、主催者を代表して心より御礼と感謝を申し上げます。

エリート選手権大会とエイジの渡良瀬大会との併催は、実に3年振りの開催となります。選手の皆さん、本当にお待たせしました。先ずはこの広大なヨシ原の渡良瀬の地で、トライアスロン競技を存分に楽しんでください。

選手権大会は、「いちご一会とちぎ国体」のトライアスロン競技東京都及び長野県・新潟県代表選考会、そして「第25回日本トライアスロン選手権」東京ブロック代表選考会を兼ねております。それぞれで頂点を目指す選手の皆さんの力強い泳ぎと熱い走りに大いに期待しています。練習の成果を存分に発揮してください。

渡良瀬大会は、スタンダードの部、スプリントの部とも、「2022JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」対象大会となります。日本でも有数の暑い地域での熱いレースを期待しています。完走はまさに鉄人に相応しい称号でもあります。

「パラトライアスロンの部」では、今年も4名のパラトライアスリートがエントリーされました。パラトライアスロンの普及・発展・強化のため常設化を目指し、是非、皆さんの温かい応援を宜しくお願い申し上げます。

弊連合は、この素晴らしいトライアスロン競技のさらなる発展に尽力して参ります。これまで長きに亘り、本大会を主催大会として開催することができましたのも、選手の皆さんの熱い支持、地元の皆様やご後援・協賛・ご協力各位の皆様のご理解、そして今年も60名以上の審判員・スタッフ等の皆様のご尽力による賜物であります。あらためて心より感謝と御礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

コロナ禍での長いトンネルの出口は未だ見えません。引き続き日々の感染予防も怠りなく、そして大会当日の感染対策へのご協力もよろしく申し上げます。6月19日、渡良瀬遊水地での再会を楽しみにお待ちしております。



大会名誉会長
群馬県邑楽郡板倉町
町長 栗原 実

ごあいさつ

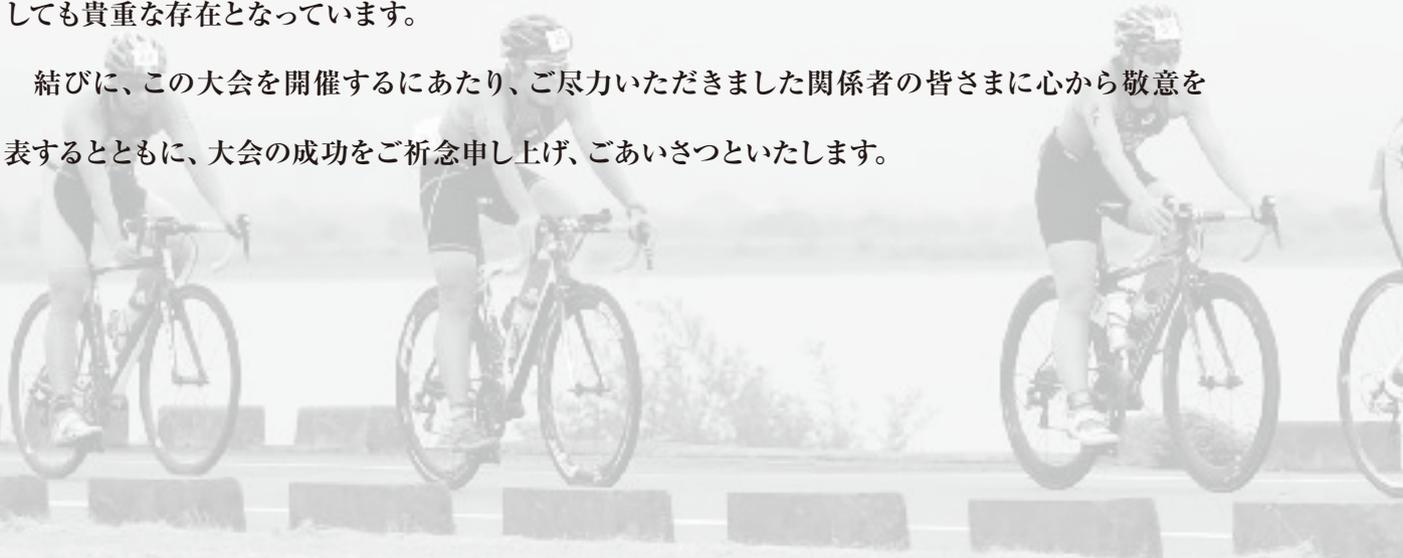
紫陽花が咲き誇る6月を向かえ、本日ここに「第33回2022東京都トライアスロン渡良瀬大会」が盛大に開催されますことを、板倉町民一同心よりお祝い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、国内のワクチン接種も徐々に浸透しつつ3回目、4回目の実施へと動き出しています。今後ワクチン接種のさらなる普及によって、生活や経済をはじめ、スポーツ界でも徐々に感染症拡大前に戻ることを期待しており、この感染症が一日でも早く終息を向かえ、皆様が心からスポーツを楽しめるよう願うばかりです。

トライアスロンといえば、「スイム」「バイク」「ラン」の3種目を1で行うという、体力だけでなく強い精神力も必要とされる競技であると思います。大会に参加される皆さまにおかれましては、日頃のトレーニングの成果を十分に発揮していただき、思い出深い大会になりますことを期待するものであります。

さて、大会会場となる渡良瀬遊水地は渡良瀬川・思川・巴波川の合流地点にあり、群馬・栃木・埼玉・茨城の4県にまたがる、総面積33平方キロメートルという日本最大級の遊水地であり、働きとしては洪水調節機能や都市用水の補給機能など大切な役目を果たしています。また、この遊水地の自然環境の特徴は、豊かな緑をたたえる広大なヨシ原で、その広さは日本屈指のものとなっており、多くの動植物が生息するなど、低地の自然環境が保全されラムサール条約登録湿地としても貴重な存在となっています。

結びに、この大会を開催するにあたり、ご尽力いただきました関係者の皆さまに心から敬意を表するとともに、大会の成功をご祈念申し上げ、ごあいさつといたします。





大会名誉会長
公益社団法人
日本トライアスロン連合(JTU)
会長 岩城 光英

ごあいさつ

日頃からトライアスロン、パラトライアスロンそして関連マルチスポーツの普及と発展に貢献している「第33回2022東京都トライアスロン選手権大会／東京都トライアスロン渡良瀬大会」が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して心からお祝いを申し上げます。

三年振りとなる東京都選手権とエイジレースの併催。そして、雄大な自然に囲まれた緑あふれる渡良瀬遊水地を舞台に開催される本大会を参加選手の皆さんは心待ちにしていたことと思います。大会関係者や地域の皆様のご尽力により、各地から集う選手たちが日頃の練習の成果を発揮することを期待しております。

一昨年来、思うように大会が開催できない時期が続きましたが、昨夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が実現したことは、多くのスポーツ関係者を勇気づけました。また、各地域の皆様の柔軟な対応により、全国各地で約300の社会貢献活動が実施され、トライアスロンファミリーの底力も感じることができました。

そして、この度、日本トライアスロン連合では、従来のエイジグループランキングの仕組みを一新し、他の競技団体やスポーツイベントに先駆けた試みとして「JTUエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」を創設しました。レースを完走したすべての選手に世界選手権への日本代表選手資格が付与されるこの新しいシリーズは、多くのトライアスリートの新たな情熱と意欲を駆り立てることでしょう。

このようなスポーツの世界においても、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献が求められています。スポーツを通じた健康増進・体力向上、地域創生・活性化の推進は、トライアスロン界が目指す指針と一致するものです。さらに、自然を活用して行われるトライアスロンならではの取り組み方法は様々です。まずは、私たち一人ひとりが日常的にできる環境問題へのアプローチの検討を提唱します。

「すべての挑戦を応援します! 世界へ羽ばたけ、トライアスリート!」を合言葉に、全国各地のトライアスロン関係者の皆様と一致団結し、心新たに「健康スポーツトライアスロン」の普及・発展に力を合わせて取り組んで参りたいと考えておりますので、より一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

本大会にご支援をいただいた企業・団体そしてボランティアの皆様にご心から御礼を申し上げます。東京都選手権大会・東京都渡良瀬大会が、選手に愛され、より地域の振興と福祉に貢献できるよう、関係者の皆様のご支援をお願いし、大会の成功を心よりお祈りいたします。

1. 大会概要

大会名：第33回 2022東京都トライアスロン選手権大会（2022日本トライアスロン選手権東京港大会東京ブロック代表選考会）
（「いちご一会とちぎ国体2022」トライアスロン競技東京都代表選考会及び新潟県・長野県代表選考会）
2022東京都トライアスロン渡良瀬大会（2022 JTUトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ）

開催日：2022年6月19日(日)【雨天決行】

開催地：渡良瀬遊水地(群馬県邑楽郡板倉町)

主催：(一社)東京都トライアスロン連合(以下TMTU)

後援：東京都、(公財)東京都体育協会、板倉町、板倉町教育委員会、(公社)日本トライアスロン連合(以下JTU)

協賛：天乃屋、ローソン、味の素、スポーツクラブNAS、TYR、ネオシステム、

協力：(公財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、館林地区消防組合板倉消防署、JTU関東ブロック協議会、JTU東京ブロック協議会、群馬県トライアスロン協会、チームペガサス、エスピーアール、Hi-RIDGE、STJレンテック、シーフォース、METRA、正協印刷

M C：高嶺 寛己

- ◎暑くて… 日本一暑い館林地区での暑い大会
- ◎熱くて… 東京都決戦、それぞれの自己ベストを目指す熱い大会
- ◎厚い… いたわり、感謝の心の厚い大会…、その先の51.5km!

大会(競技)実施の決定等

原則雨天決行としていますが、悪天候の場合は、選手権大会は6時00分、渡良瀬大会は9時00分に競技実施検討会を開催し、開始・遅延・中止等のアナウンスを会場にて行います。
気象状況、天候、官公庁指示等によって、競技中止・距離短縮・男女同時スタート・アクアスロン・デュアスロン等に変更する場合があります。何卒ご了承ください。

2. 大会役員・TO

大会名誉会長	栗原 実〔板倉町長〕	T	O	土屋 富士美	浅利 峰欣	池田 博信	
	岩城 光英〔JTU会長〕			友野 由香	島津 寿江	堀内 康浩	
大会会長/実行委員長	大村 真人〔TMTU会長〕			小澤 美枝	野田 朋芳	忠 竜夫	
レースディレクター	川添 勝〔TMTU専務理事〕			浜田 裕一	鈴木 仁	内田 悦哉	
技術代表	片倉 亜矢			鷲塚 和一	脇屋 元	坂口 幸治	
審判長	小田 智子〔選手権大会〕、水野 真之〔渡良瀬大会〕			本田 弓子	加納 武明	滝瀬 敦士	
C R O	片倉 義之			野村 聡	高田 洋子	初山 宏隆	
審議委員	川添 勝、大村 真人、片倉 亜矢			鷲塚 浩二	榎本 正	木村 譲二	
メディカルチーフ	望月 英明			青木 克樹	木村 卓司	小林 洋	
スイムチーフ	成塚 朋也			松田 光太	柴本 靖史	金井 美由紀	
バイクチーフ	岡本 伸久			白石 勝	木田 建二	加藤 敏弘	
ランチーフ	鑑田 俊司			鬼塚 久司	北野 健二	吉澤 健	
エイドチーフ	阿部 拓希			齋木 雄二	島崎 洋一	茂木 利明	
ペナルティ管理チーフ	甲斐 貴之			市川 尚	松田 裕	宮川 里咲	
トランジションチーフ	井口 大介〔選手権大会〕、前田 隆司〔渡良瀬大会〕			本橋 茂	野間 秀樹		
フィニッシュチーフ	永塚 美紀			縄田 拓也	奥村 清		
リスタートチーフ	川村 徹夫						
				メディカルスタッフ	望月 英明	馬場 聡史	大木 亮子
					森 美由紀		
				スタッフ	鷲塚 不二子	野田 康司	
				事務局	佐藤 早苗		

3. その他

■ 会場は公共の場です

大会会場は公共公園をお借りし開催されますが、コースは大会占有ではありません。一般の外来者の横断等には十分注意して競技してください。安全確保は選手一人一人の義務です。今年も特別に許可を頂いて本大会が開催する運びとなったこと、そして皆様のマナーが今後の継続的な大会開催につながることを十分ご承知の上、自然の中でのトライアスロンを楽しんでください。

■ 軽食

参加選手の皆さまには1人1つ[うどん]または[助六弁当]のどちらかをご準備いたします。大会当日、受付時にお渡しするチケットと交換となりますので、フィニッシュ後に必ずお受け取りをお願いいたします。

■ トイレ

大会本部のある第1駐車場に仮設トイレを用意しています。なお、想い出橋側(南約250m・仮設トイレ)、北水門側(北約600m・男女別常設トイレ)もご利用ください。

■ 更衣

更衣は指定された場所で行い、大会会場近辺および公道上等での更衣や上半身裸のままの移動等は決してしないようお願いします。男女更衣テントは上記仮設トイレ横に用意します。

■ ゴミ

ご自身のゴミはお持ち帰りいただきますようエコ活動のご協力をお願いいたします。

■ 大会による補償

本大会中の事故に関しては、大会主催者が加入する保険の範囲内で補償いたします。

補償限度額／死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円/日(180日を限度)、通院2,500円/日(90日を限度)

■ 写真撮影

大会当日、大会主催者より特別許可された業者が写真撮影を行います(緑色の大会ビブスまたは腕章を着用)。画像はインターネットにアップされ、各自にてご購入となりますが、インターネットによる写真公開が不都合な選手は、大会当日、大会本部にお申し出ください。

■ 完走証・リザルト等

公式リザルトは確定次第、大会ホームページに掲載いたします。また、完走証は、ご自身でホームページより入手ください。

■ ドラフティング

バイク競技では、選手権大会はドラフティング許可、渡良瀬大会はドラフティング禁止となっていますので、ご注意ください。

ドラフティング走行とは、「前走者を風よけにして、楽に走ろうとすること」です。

ドラフティング走行(前走者を風よけにして、楽に走ろうとすること)は禁止です。バイク前輪の最前部が、先行していたバイクの前輪の最前部より前方に出たとき「追い越した」とみなされます。追い越しを試みる場合は、先行する競技者の前輪最前部から、追い越しをする競技者の前輪最前部までの10m(ドラフトゾーン)に入って、20秒以内に追い越しをしなければなりません(20秒以内に追い越せなかった場合は一旦ドラフトゾーン外に下がってください)。また、追い越された選手は速やかにドラフトゾーン外に下がってください。

■ 東京都トライアスロン渡良瀬大会は、2022JTUトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズです。

◎JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ(スタンダード/スプリント)

1. 対象選手：JTU主催・共催大会(シリーズ対象大会)に出場したエイジグループ選手(JTU会員登録者)
2. 男女とも「5歳刻み年代別(24歳以下、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳...)」のカテゴリーを設ける。
3. 対象年齢 カテゴリー男女とも「年代別(18-19歳、20-24歳、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳...80-84歳、85-89歳、90歳-)」のカテゴリーを設定。
※年齢は当年の12月31日現在基準
4. エイジ選手の完走者が対象。
総合順位がない選手、TOV(タイムオーバー)・DSQ(失格)・DNF(途中棄権)・SKIP・OPENの選手は除外して計算する。
5. その他
(ア) これまで運用していた各大会のランク区分は廃止
(イ) 対象大会における完走実績選手(=ポイント取得選手)への「2022世界選手権/2022アジア選手権(スタンダード・スプリント・ロング)の参加資格」を授与 ※ 詳細はJTUサイトにてご確認ください

◎ポイントシステムの特徴について

1. シリーズ対象大会において完走した全選手へポイントを付与する
2. 順位または完走タイムに応じてポイントを付与し、合計ポイント数からエイジグループランキング(年代別順位)を決定する。
3. 最大ポイント「1,000P」を、各エイジグループ別1位の選手に付与する
4. 2位以降は各エイジグループ別1位の選手とのタイム差から差分ポイントを計算する
5. エイジグループ区分は男女とも5歳刻みとする。
18-19・20-24・25-29・30-34・35-39・40-44・45-49・50-54・55-59・60-64・65-69・70-74・75-79・80-84・85-89・90-

※詳しくはJTUホームページをご参照ください

・スタンダード <https://www.jtu.or.jp/rank/category/age/> ・スプリント https://www.jtu.or.jp/rank/category/age_sprint/

東京都トライアスロン選手権大会競技説明

- 競技距離：スイム1.5km、バイク40km、ラン10km（計 51.5km）
- 表彰対象：男女各1～6位 ※東京都登録(学連含む)による別途表彰あり ※選手権上位の選手には表彰式を実施
- スケジュールおよび制限時間：進行状況により時間が前後することがありますが、ご了承ください。

6:00～6:50 選手受付(男女共)、 6:10～7:00 トランジションOPEN

7:00～7:15 開会宣言、スイムウォームアップ(男女共)

7:15～ 選手コール(男女共、於/スイムエリア)

7:20～9:35 男子競技【レースNo.1～37】

7:25～9:55 女子競技【レースNo.41～53】

●制限時間／ 男子2時間15分・女子2時間30分

■各競技上の注意：

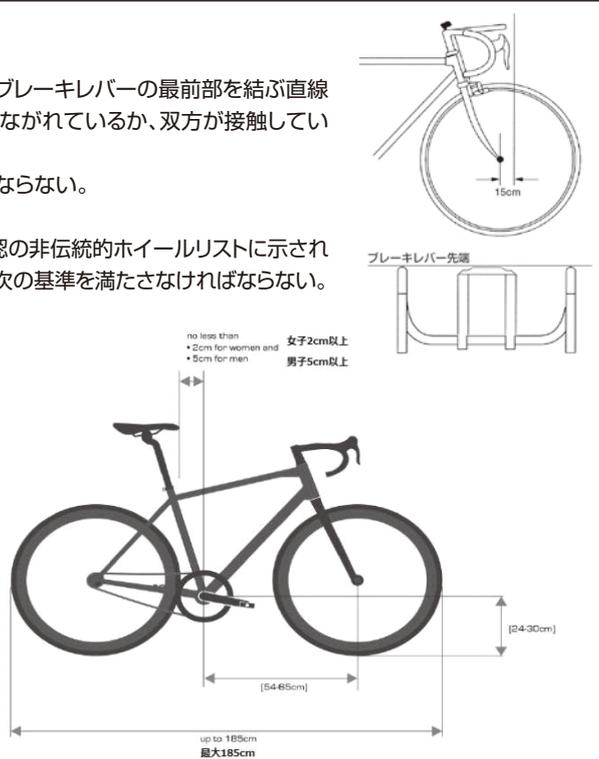
- JTU競技規則に則り水温に応じた競技ユニフォームの着用となります。ウェットスーツの着用可否は当日6時の水温計測にて決定します。(水温20℃以上でウェットスーツ使用禁止。例年の水温データからウェットスーツ着用は不可と予想されますが、上半身は必ずレースウェアを着用しての競技となります。)
- 前開きユニフォーム、前面ジッパーは禁止です。選手権のユニフォームチェックは事前にWEB登録を実施します。詳細は技術代表からのメールを必ずご確認ください、事前登録の対応を実施してください。
- 選手権は受付時に両上腕用のボディナンバーシールを配布します。
- ホイールステーション(WS)はトランジション手前(WS1)に設置します。必要な方は番号・名前等明記の上、各自持参してセットしてください。WS2(ニュートラル)はありません。
- バイクDNFの選手は、必ず道路の外周(湖とは反対側の端)を歩いて戻ってください。アンクルバンドは審判員に手渡すか、競技本部テントまで届けてください。
- 競技終了後、レースギアは速やかに回収してください。(渡良瀬大会競技開始前までに)
- ドラフティングレースで使用できるバイク条件は下図の通りとなります。
- JTU競技規則に必ず目を通しておいてください。競技規則は以下のURLからダウンロードできます。
https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf
- スイムのフォールススタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。
- トランジションのバイクラックはサドル掛けとします。(ブレーキレバーやハンドル掛けはタイムペナルティの対象)
- 選手権はドラフティング許可レースですが、異なる性別の選手へのドラフティング行為は違反です。1回目の警告と是正ののち、2回目の警告を受けた場合失格(DSQ)となります。

ドラフティングレースで使用するバイク

- エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上前に出ていないこと。また左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出ていないこと。エアロバーの先方の両先端は、市販の硬質ブリッジでつながれているか、双方が接触していること。(自作のブリッジは禁止)
クリップオンハンドルの最高部と肘あての最低部の高さの差は10cmを超えてはならない。
 - ディスクホイールの使用は禁止です。
ドラフティング許可大会(エリート、U23、ジュニア、ユース)では、ホイールはUCI承認の非伝統的ホイールリストに示されるホイールを使用することができる。(競技規則参照)。このリストにないホイールは、次の基準を満たさなければならない。
 - (1)タイヤ部分を含めて最大直径70cm、最小直径55cmであること。
 - (2)両方のホイールが同じ直径であること。
 - (3)ホイールは少なくとも20本のメタルスポークがあること。
 - (4)リムの最大寸法が前後とも25mmであること。
 - (5)リムはアロイ(金属製)であること。
 - (6)全てのコンポ(装備品)は識別でき、商業的に入手できるものであること。
 - ディスクブレーキを使用することができる。
- 以上に適合しないバイクでは出場できません。不明な点は、レース当日トランジション担当審判員に尋ねてください

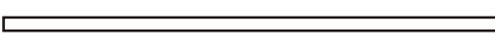
サドルポジション

- サドルの最前面のポイントに触れる垂直線は、チェーンホイール軸の中心を通る垂直線の後方、男性は5cm以上、女性は2cm以上とし、選手は競技中にこれらのラインを超えてサドルを調整してはならない。



選手権大会 コース図



■ **SWIM** : 0.75km × 2周  **SWIM** 合計 1.5km

■ **BIKE** : 7.2km × 6周  **BIKE** 合計 43.2km
(約 40km)

バイクコース上にエイドステーションはないため、バイクボトルを各自にて用意してください。

■ **RUN** : 5km × 2周  **RUN** 合計 10km

ランコースにはエイドステーション(給水所 )を3ヶ所設置しています。

第1エイド(スタート地点)、第2エイド(1.5km地点)と第3エイド(3.5km地点)には、冷水を用意。

第1エイドには塩も用意します。

東京都トライアスロン 渡良瀬大会競技説明

■ **競技距離**：(スタンダード・ディスタンス) スイム1.5km、バイク40km、ラン10km (計 51.5km)
 (スプリント・ディスタンス) スイム0.75km、バイク20km、ラン5km (計 25.75km)

■ **表彰対象**：(スタンダード・ディスタンス) 一般の部 総合男女各1~3位 / 年代別 男女各1位 (5歳刻み 24歳以下、25-29歳、-)
 (スプリント・ディスタンス) 一般の部 総合男女各1~3位 / 高校生の部 男女各1~3位
 パラの部 カテゴリー別男女各1位

※表彰式は予定なし(リザルトは後日WEBサイトにて掲出)。

入賞商品(表彰状、副賞)は当日渡しのみとなります(表彰対象者を掲示、アナウンス)。

■スケジュールおよび制限時間・関門時間：

7:30~ 9:35 選手受付 7:30~9:45 トランジションOPEN

9:30~ 9:55 ウォームアップ

9:55~ 開会宣言(於、スイムエリア)

スタート	ウェーブ	No.	カテゴリー	関門の予定時間およびスタートからの制限時間						
				スイム		バイク		ラン		
10:00	第1	No.101~	スタンダード	男子(~44歳)	11:00	スタートから 1h	12:45	スタートから 2h45m	13:45	スタートから 3h45m
10:02	第2	No.201~		男子(~59歳)	11:02		12:47		13:47	
10:04	第3	No.301~		女子・リレー	11:04		12:49		13:49	
10:06	第4	No.401~		男子(60歳~)	11:06		12:51		13:51	
10:08	第5	No.501~	スプリント	一般					12:38	スタートから 2h30m
10:10	第6	No.601~		高校生・パラの部					12:40	

●スキップについて

渡良瀬大会(スタンダード、スプリントとも)では、事前申告、試泳後、1周後のスイムスキップを適用します。

渡良瀬大会において「スキップ」とは、スタート前にスイム辞退者がバイク以降の競技に参加する制度で、記録上は完走とはなりません(DNF扱い、リザルト表示は「SKIP」)。

・スイムスキップ希望者は上記それぞれのタイミングで審判員にスキップを選択する旨を申告してください。

・審判員の指示に従って、トランジションエリアの所定の場所(赤いSKIP旗が目印/11頁参照)に10:45までに集合・点呼・アンクルバンド受領・ナンバーカードにマーキング・11時一斉スタートを予定しています。

■各競技上の注意【競技ルールはJTU競技規則に準じます。(競技規則は右記URLからダウンロードできます。http://www.jtu.or.jp/kyougikisoku/index.html)】

■ユニフォームルールについて

トライスーツのフロントジッパータイプは着用禁止のため、大会当日までにバックファスナータイプまたはファスナーなしの被るタイプのもをご用意ください。やむを得ずフロントジッパーでないタイプをご用意できない場合は、本大会ではフロントジッパーを必ず終始上まで閉めた状態で競技してください。

■スイム競技

- ◎スイムは試泳を必須とします。
- ◎ウェーブ(約2分差)ごと、さらに5人ずつ5秒間隔でのローリングスタートを予定しています。ウェーブスタート時刻に合わせて試泳を実施ください。
- ◎自信のない方は後方からゆっくりスタートしてください。
- ◎コース上に、救助艇・レスキューボード等を配備しています。
- ◎タイムオーバーの選手は、その時点で競技終了となります。
- ◎ウェットスーツは着用義務となります。

レスチューブの使用について

渡良瀬大会では、スイムの安全対策としてレスチューブの着用を推奨します。ご利用の選手はご自身で事前のご準備をお願い致します。今大会では、大会特典付き販売を実施中(レンタルはなし)。詳細はこちらからご確認ください(http://restube-jpn.com/news/tokyo_watarase2022/)。使用に当たり以下ローカルルールを適用します。

- ・着用しても膨張させなかった場合は、着用しない場合と区別なく、正規の記録となります。
- ・膨張させた場合はスイムスタッフ(審判員又はライフガード)確認の上、そのまま競技を継続することができます。ゆっくりと一呼吸おいて再スタートしてください。但し膨張させた場合は参考記録扱い(リザルトの表示は「RES」)となります。

■バイク競技

- ◎周回数は選手自身の自己管理となります。サイクルコンピューターの使用を推奨します。
- ◎コースは大会占有ではありません。一般のお客様の横断等にも十分注意して走行してください。また、コースの段差等にも注意してください。安全確保は、選手一人一人の義務です。

◎バイクボトルを落とさないよう注意してください。落とした場合は、バイクをコース端の安全な場所に止め、歩いて回収してください(放置した場合はペナルティの対象となります)。

◎バイクをラックから外す前にヘルメットのストラップをしっかりと締めてください。

◎乗車時は、乗車ライン後の地面に片足が完全に着地してから乗車してください。自信のない方は、コース端に寄って、慌てずにゆっくり乗車してください。降車時は、降車ライン前の地面に片足が完全に着地してから降車してください。

◎トランジションエリア周辺の約200mの区間は、「追い越し禁止区間」です。

◎ドラフティング走行(前走者を風よけにして、楽に走ろうとすることは禁止です(5頁参照))。

◎キープレフトの原則に従って走行してください。

◎バイクフィニッシュ後は、バイクをラックに架けてからヘルメットのストラップを外してください。

◎タイムオーバーの選手はその時点で競技終了となります。ナンバーカードを外し、計測用アンクルバンドを審判員に渡してください。

◎スタンダードディスタンスは途中関門タイムを設定しています(上記参照)。

■ラン競技

◎キープレフトを厳守してください。

◎エイドステーションはコース上に3ヶ所。早めの水分補給を行ってください。コップは必ず所定のゴミ箱に棄ててください。

◎ラン周回不足の場合、フィニッシュ後のコース復帰はできません。

◎タイムオーバーの選手はその時点で競技終了となります。ナンバーカードを外し、アンクルバンドを審判員に渡してください。

◎スタンダードディスタンスは途中関門タイムを設定しています(上記参照)。

■その他

◎熱中症に注意してください。水分補給はしっかりと早めにとるようにしてください。

◎無理せず安全第一でレースを楽しんでください。体調不良と感じたら、勇気を持ってリタイア(アンクルバンドを審判員に手渡し)することも大切です。

◎スイムのフォールスタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。

◎刺青(タトゥー)は、隠さなくてもルール上出場はできますが、周囲への配慮等、ご協力をお願いします。

渡良瀬大会 コース図



スタンダードディスタンス(51.50km)

■ SWIM : 0.75km × 2周 ◯ SWIM 合計1.5km

■ BIKE : 7.2km × 6周 — BIKE 合計 43.2km
(約40km)

■ RUN : 5km × 2周 RUN 合計 10km

スプリントディスタンス(25.75km)

■ SWIM : 0.75km × 1周 ◯ SWIM 合計0.75km

■ BIKE : 7.2km × 3周 — BIKE 合計 21.6km
(約20km)

■ RUN : 5km × 1周 RUN 合計 5km

バイクコース上にエイドステーションはないため、バイクボトルを各自にて用意してください。

ランコースにはエイドステーション(給水所 **エイド**)を3ヶ所設置しています。

第1エイド(スタート地点)、第2エイド(1.5km地点)と第3エイド(3.5km地点)には、冷水を用意。

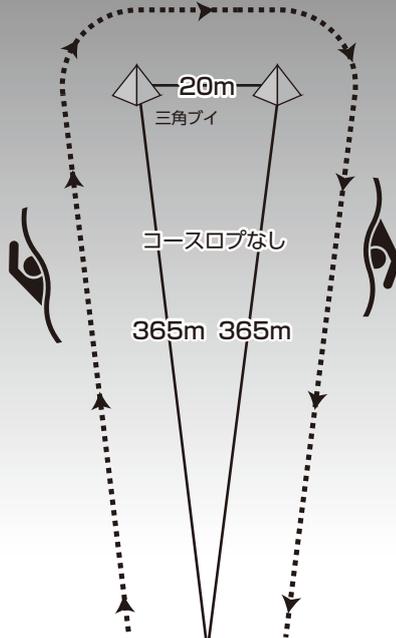
第1エイドには塩も用意します。

トランジションエリア周辺図

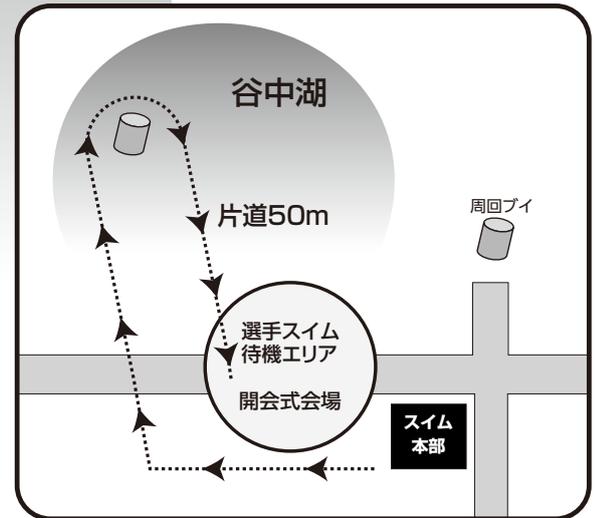
SWIM
 BIKE —————
 RUN

谷中湖

- ・365m沖に泳ぎ、2つのブイを回って岸に戻って1周です。
- スタンダードディスタンス
750m×2周回=1,500m
- スプリントディスタンス
750m×1周回= 750m
- ・スイムは時計回りです。



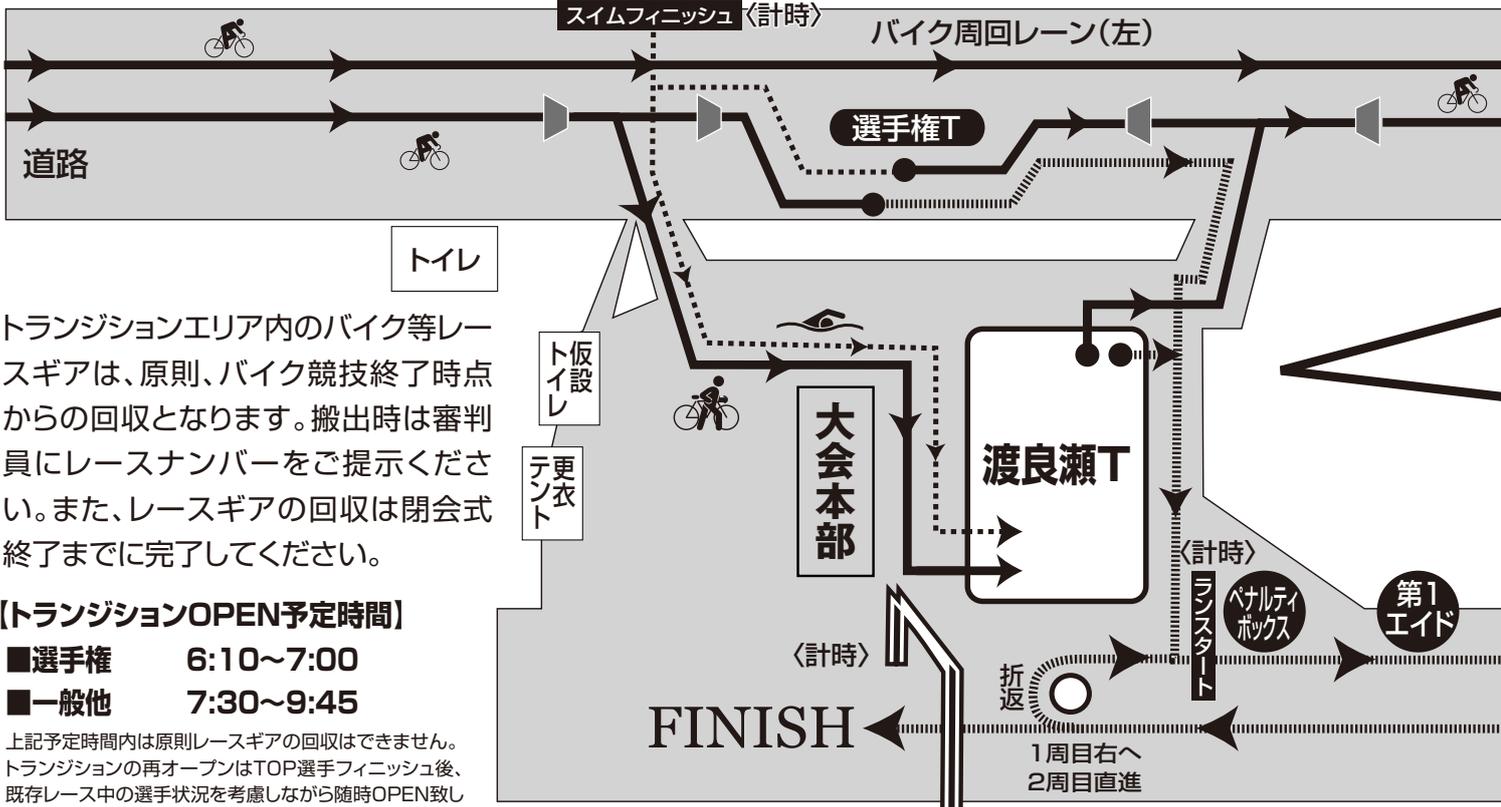
スイムウォームアップ
 渡良瀬大会の選手は審判員の指示に従い、必ずスイムウォームアップを実施してください。



選手スイム待機エリア
 開会式会場

スイム本部
 メガネ置場
 アンクルバンド

← プレトランジションエリア (パラの部)
 スイムフィニッシュ付近にプレトランジションエリアを設置します。スイムフィニッシュからトランジションエリアへの移動に必要な器具はこちらにセットしてください。

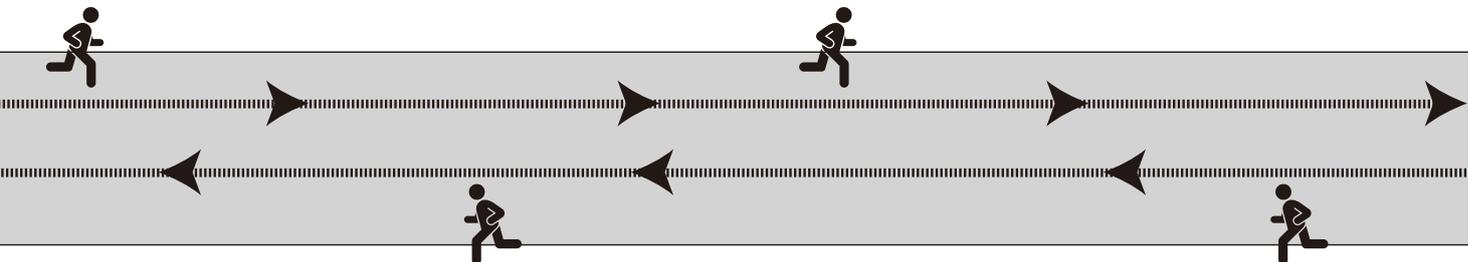
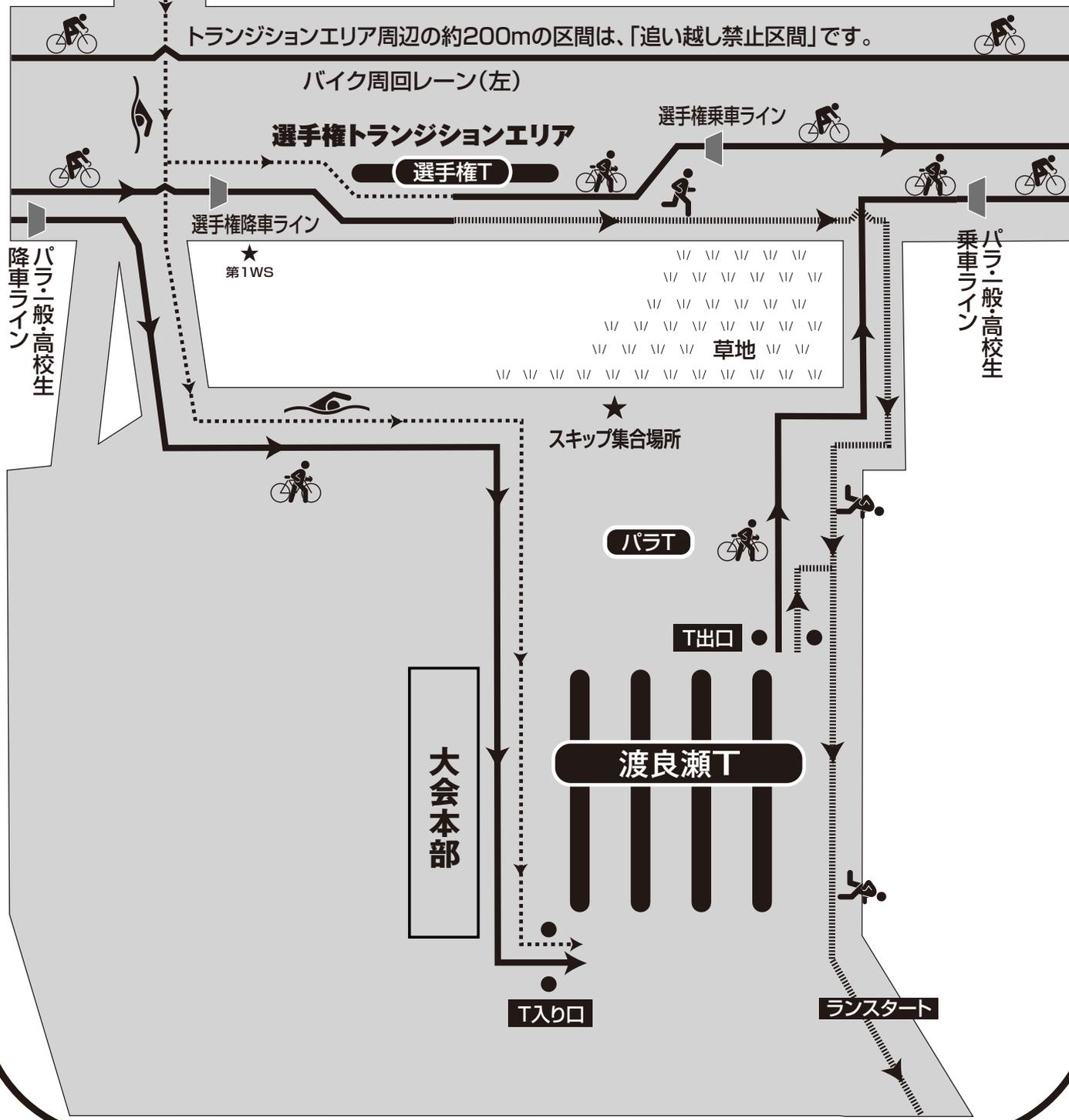


トランジションエリア内のバイク等レースギアは、原則、バイク競技終了時点からの回収となります。搬出時は審判員にレースナンバーをご提示ください。また、レースギアの回収は閉会式終了までに完了してください。

- 【トランジションOPEN予定時間】**
- 選手権 6:10~7:00
 - 一般他 7:30~9:45

上記予定時間内は原則レースギアの回収はできません。トランジションの再オープンTOP選手フィニッシュ後、既存レース中の選手状況を考慮しながら随時OPEN致します。ご協力をお願い致します。

トランジションエリア周辺拡大図



第33回2022東京都トライアスロン選手権大会 スタートリスト

選手権【男子】

スイムキャップ：ホワイト / ナンバーカード：ブラック(地:ホワイト)

No.	氏名	よみがな	国体予選	YOB
1	椿 浩平	つばき こうへい	東京	1991
2	小林 祐也	こばやし ゆうや	—	1999
3	寺澤 光介	てらさわ こうすけ	東京	1994
4	浅海 健太	あさかい けんた	東京	1994
5	外山 高広	とやま たかひろ	東京	1983
6	梅田 祐輝	うめだ ゆうき	東京	1985
7	福島 旺	ふくしま あきら	東京	2001
8	佐々木 信	ささき まこと	東京	2000
9	出口 陽也	でぐち あきや	—	1998
10	笠原 大康	かさはら ひろやす	新潟	1976
11	阿久津 将	あくつ まさし	東京	1991
12	武田 空我	たけだ くうが	東京	2003
14	辻田 洸希	つじた ひろき	東京	2001
15	井上 一輝	いのうえ かずき	—	1982
16	下田 優斗	しもだ ゆうと	東京	2004
17	滝沢 凜	たきざわ りん	東京	1996
18	中川 恵太	なかがわ けいた	東京	1999
19	English Philip	いんぐりっしゅ ふいりっぶ		1991
20	滝沢 進	たきざわ しん	長野	1991
21	小林 幸誠	こばやし こうせい	長野	2001
22	平出 晃大	ひらいで こうだい	長野	2002
23	山浦 健	やまうら けん	長野	2003
24	高野 真志	たかの まさし	長野	1996
25	松本 剛	まつもと つよし	長野	1974
26	丸山 一樹	まるやま かずき	長野	2002
27	佐々木 克幸	ささき よしゆき	長野	1984
28	関 麟太郎	せき りんたろう	新潟	2004
29	渡邊 哲也	わたなべ てつや	新潟	1996
30	斐澤 由吏	にらさわ ゆうり	新潟	2001
31	浅野 優雅	あさの ゆうが	新潟	1998
32	豊嶋 真生	とよしま まさき	新潟	2001
33	平石 祥汰	ひらいし しょうた	新潟	2003
34	大谷 友哉	おおたに ゆうや	—	2002
35	小川 颯斗	おがわ はやと	—	1999
36	本木 颯人	もとき はやと	—	2002
37	山本 裕暉	やまもと ゆうき	—	1998

選手権【女子】

スイムキャップ：レッド / ナンバーカード：ホワイト(地:レッド)

No.	氏名	よみがな	国体予選	YOB
41	蔵本 葵	くらもと あおい	東京	1988
42	加来 奈津子	かくなつこ	東京	1984
43	竹内 愛	たけうち あい	東京	1996
44	甲斐 彩花	かい さいか	東京	2003
45	中野 咲桜	なかの さきお	東京	1991
46	鈴木 詩万	すずき しま	東京	2004
47	佐藤 らら	さとう らら	東京	2002
48	中村 祥代	なかむら さちよ	—	1994
49	青海 汐音	せいかい しおね	新潟	2004
50	近藤 小夏	こんどう こなつ	新潟	2002
51	竹内 美翔	たけうち みう	長野	1998
52	瀬戸 郁美	せと いくみ	長野	2002
53	江成 みなみ	えなり みなみ	—	1999
54	池口 いずみ	いけぐち いずみ	—	2000

2022 東京都トライアスロン渡良瀬大会 スタートリスト

第1ウェーブ スタンダードディスタンス【一般男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
101	長谷川 綾	はせがわりょう	1985	現人レーシング
102	奥平 竜司	おくひら りゅうじ	1988	
103	溝口 泰平	みぞぐち たいへい	1982	
104	福田 勇希	ふくだ ゆうき	1994	MAESTRO
105	有富 弘朗	ありとみ ひろあき	1989	東京ヴェルデトライアスロンセクション
106	村田 賢太郎	むらた けんたろう	1994	
107	根本 亮治	ねもと りょうじ	1980	SUNNY FISH
108	佐藤 崇史	さとう たかふみ	1987	Choose to Fight!!
109	能丸 将	のうまる まさる	1994	
110	樋口 翔悟	ひぐち しょうご	1992	
111	志田 浩章	しだ ひろあき	1978	
112	服部 勇佑	はっとり ゆうすけ	1991	
113	秋山 優	あきやま まさる	1978	
114	西田 泰典	にしだ やすのり	1986	triactive
115	竹内 友哉	たけうち ともや	1995	
116	土谷 謙太	つちや けんた	1992	
117	太宰 賢二	だざい けんじ	1981	ippo
118	高嶋 宏明	たかしま ひろあき	1977	
119	天野 晃	あまの あきら	1983	
120	彌勒寺 寛之	みろくじ ひろゆき	1979	
121	竹村 浩和	たけむら ひろかず	1978	
122	植尾 大輔	うえお だいすけ	1981	
123	松林 峻平	まつばやし しゅんぺい	1989	OMM
124	鈴木 裕之	すずき ひろゆき	1979	
125	中島 敏彦	なかじま としひこ	1982	
126	根津 利也	ねづ としや	1998	
127	渡邊 智哉	わたなべ ともや	1992	
128	駒野 悠太	こまの ゆうた	1982	Hermèstar
129	長谷川 健	はせがわ けん	1981	金町トライアスロンクラブ
130	下野 善弘	しもの よしひろ	1977	Hermèstar
131	庄司 元樹	しょうじ げんき	1986	
132	藤川 裕介	ふじかわ ゆうすけ	1995	
133	北條 孝樹	ほうじょう こうき	1995	TK EUROS
134	武藤 光	むとう こう	1993	OMM
135	須田 晃介	すだ こうすけ	2003	Lwing
136	市ノ川 隆久	いちのかわ たかひさ	1985	Hermèstar
137	木幡 帝珠	きはた ていしゅ	1979	
138	鈴木 駿介	すずき しゅんすけ	1999	
139	入江 卓	いりえ たく	1979	
140	谷中 研一	やなか けんいち	1978	
141	渡部 哲也	わたなべ てつや	1990	
142	田中 哲也	たなか てつや	1981	立川市トライアスロン協会
143	川村 賢史	かわむら まさふみ	1980	
144	関谷 祐一	せきや ゆういち	1984	
145	金子 奏一朗	かねこ そういちろう	1984	

第2ウェーブ スタンダードディスタンス【一般男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
201	太田 暁也	おおた あきなり	1975	
202	栗原 誠仁	くりはら せいじん	1970	
203	沢田 秀二	さわだ しゅうじ	1963	ミカド電装商事AC
204	大石 尾張	おおいし おわり	1967	町田市トライアスロン連合

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
205	西澤 正志	にしざわ まさし	1968	N2アスリート
206	堀内 成吾	ほりうち せいご	1966	横浜トライアスロンスクール
207	金子 雄介	かねこ ゆうすけ	1976	
208	神長 秀樹	かみなが ひでき	1966	
209	榛澤 尚武	はんざわ しょうぶ	1965	
210	土屋 和彦	つちや かずひこ	1976	関東トライアスロン同好会(非公認)
211	川村 一徳	かわむら かずのり	1973	
212	益田 裕久	ますだ ひろひさ	1966	
213	久次 龍三	ひさつぐ たつみ	1963	ペリトラNW
214	高橋 頼孝	たかはし よりたか	1975	
215	吉澤 昭夫	よしざわ あきお	1972	
216	藤井 雄三	ふじい ゆうぞう	1969	
217	松田 健一	まつだ けんいち	1970	
218	長尾 健太郎	ながお けんたろう	1974	
219	武田 宏	たけだ ひろし	1972	
220	日比野 暢	ひびの とおる	1973	
221	北岡 聡	きたおか さとし	1970	日本製鉄トライアスロン競技部
222	坂中 悦夫	さかなか えつお	1965	
223	河野 隆之	こうの たかゆき	1963	越谷走友会
224	小川 不二夫	おかわ ふじお	1967	
225	床枝 悟	とこえだ さとる	1974	
226	林 晋太郎	はやし しんたろう	1971	スペシャライズドトライアスロンクラブ
227	ABSOUS Olivier	あぶすー おりういえ	1976	Triathlon in Tokyo
228	矢口 栄司	やぐち えいじ	1972	関東鉄人会
229	森田 翼	もりた つばさ	1974	稲毛インター
230	松崎 充宏	まつざき みつひろ	1972	MAESTRO
231	岡本 篤志	おかもと あつし	1975	
232	只木 浩二	ただき こうじ	1967	
233	平山 康弘	ひらやま やすひろ	1966	プールの家
234	小暮 恒介	こぐれ こうすけ	1973	
235	須田 知身	すだ ともみ	1964	
236	杉原 弘人	すぎはら ひろと	1965	
237	クラーク チャド	くらーく ちゃど	1970	コルカノン
238	福山 悟	ふくやま さとる	1967	
239	眞鍋 俊彦	まなべ としひこ	1962	sunnyfish
240	山本 慈朗	やまもと じらう	1965	チバボンズ
241	鈴木 謙太	すずき けんた	1964	
242	張ヶ谷 真	はりがや まこと	1974	
243	佐藤 益弘	さとう ますひろ	1974	
244	澤田 拓人	さわだ たくひと	1972	FC ALL DOWN
245	山崎 教雄	やまざき のりお	1968	
246	中田 哲	なかた さとし	1966	メルク
247	茂木 智	もてぎ さとし	1965	
248	平山 隆志	ひらやま たかし	1964	オッティモ
249	広瀬 昌章	ひろせ まさあき	1974	
250	新井 佳二郎	あらい けいじろう	1969	
251	高草木 康史	たかくさき やすふみ	1967	
252	松本 行央	まつもと ゆきお	1976	オンザロード
253	丸山 哲	まるやま さとし	1971	
254	佐竹 理史	さたけ まさし	1966	
255	スレッジ ジョン	すれっじ じょん	1973	
256	小林 司	こばやし つかさ	1973	結城市役所じてんしゃくらぶ
257	星野 達哉	ほしの たつや	1974	
258	石関 浩史	いしげき ひろし	1962	

第3ウェーブ スタンダードディスタンス【一般女子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
301	木村 綾愛	きむら あやめ	1997	
303	菅原 碧	すがわら みどり	1994	
304	秋山 恵美	あきやま めぐみ	1991	
305	貴田 真美	きだ まみ	1984	L-wing
306	角 仁美	すみひとみ	1980	Monster triathlon club
307	新井 磨里子	あらい まりこ	1970	
308	篠原 知美	しのはら ともみ	1970	
309	中軽米 恵子	なかかるまい けいこ	1964	HTC
310	佐々木 幸子	ささき さちこ	1956	
311	山澤 洋子	やまざわ ようこ	1968	
312	青木 みどり	あおき みどり	1956	オアシススポーツクラブ

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
313	高橋 夏帆	たかはし かほ	1997	
314	才木 直子	さいき なおこ	1964	横浜トライアスロン研究所
315	春日 伊都子	かすが いつこ	1968	
316	草刈 友美	くさかり ともみ	1978	横浜トライアスロン研究会
317	中村 順子	なかむら じゅんこ	1976	FLEET
318	谷川 真由子	たにかわ まゆこ	1964	青山トライアスロン倶楽部
319	濱野 裕明子	はまの ゆみこ	1976	
320	篠原 三陽	しのはら みはる	1972	KII-Lab
321	山本 真紀恵	やまもと まきえ	1966	KTC
322	福田 恵美子	ふくだ えみこ	1962	
323	黒羽 美登里	くろばね みどり	1962	Athlete Works

第3ウェーブ スタンダードディスタンス【リレー】

No.	チーム名	スイム選手名	よみがな	性別	YOB	バイク選手名	よみがな	性別	YOB	ラン選手名	よみがな	性別	YOB
351	クリスティーズ	小山田 光明	おやまだ みつあき	男	1969	宮下 弘章	みやした ひろあき	男	1971	清水 学	しみず まなぶ	男	1971
352	ちょいおーい	目黒 裕章	めくろ ひろあき	男	1976	小菅 敦史	こすげ あつし	男	1976	中谷 洋志男	なかたに よしお	男	1977
353	うお〜た〜BOYS	小林 茂久	こばやし しげひさ	男	1977	館 洋光	たちひろみつ	男	1977	本木 克	もとき まさる	男	1971

第4ウェーブ スタンダードディスタンス【一般男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
401	兒玉 和実	こだま かずみ	1961	宮塚トライアスロンアカデミー
402	二木 明彦	ふたき あきひこ	1959	アキ動物病院
403	生田 哲	いくた てつ	1956	
404	上杉 大輔	うえすぎ だいすけ	1957	オンガモトライアスロンクラブ
405	堀井 健司	ほりい けんじ	1952	
406	宇田川 敦志	うたがわ あつし	1961	
407	小嶋 健司	こじま けんじ	1950	
408	山崎 正史	やまざき まさし	1955	新宿区トライアスロン連合
409	長谷川 貴也	はせがわ たかや	1961	
410	貝塚 理	かいつか おさむ	1962	
411	森 哲	もり さとし	1960	
412	岩本 俊信	いわもと としのぶ	1942	千代田走友会
413	中村 浩一	なかむら こういち	1959	SOFNET JAPAN
414	三木 健一	みき けんいち	1955	
415	小杉 博	こすぎ ひろし	1949	チーム酔いどれ
416	坂巻 好明	さかまき よしあき	1957	佐野T.C
417	阿部 功	あべい さお	1961	湘南ベルマーレ
418	高橋 克昭	たかはし かつあき	1958	CCF
419	渡辺 吏	わたなべ つかさ	1961	HTC
420	佐藤 真治	さとう しんじ	1959	
421	小倉 一彦	おくら かずひこ	1959	Gutaro Offroad team
422	加藤 浩	かとう ひろし	1960	
423	青山 晶一郎	あおやま しょういちろう	1955	ATA
424	羽田 周司	はだしゅうじ	1952	
425	高橋 伸之	たかはし のぶゆき	1960	
426	佐野 博男	さの ひろお	1941	
427	村田 克也	むらた かつや	1955	
428	峰田 正隆	みねた まさたか	1943	

第5ウェーブ スプリントディスタンス【一般男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
501	中山 泰誠	なかやま たいせい	1997	
502	OGABALDWIN QUINT	おおがぼーどぅいんくゐんと	1982	Triathlon in Tokyo
503	奥山 興士	おくやま おくし	1968	なし
504	小野原 学	おのほら まなぶ	1970	チームケンズ東大和
505	安丸 信行	やすまる のぶゆき	1968	
506	岡部 稔	おかべ みのり	1968	
507	高野 英祐	たかの えいすけ	1974	
508	坪井 修一	つばい しゅういち	1961	
509	長島 太郎	ながしま たろう	1969	チームケンズ東大和
510	生井 和平	なまい かずひら	1972	MAESTRO
511	木村 悠	きむら ゆたか	1986	
512	境 広志	さかい ひろし	1965	チームケンズ
513	山崎 裕太	やまざき ゆうた	1990	j-beat
514	藁谷 卓也	わらがいたくや	1980	
515	杉澤 正也	すぎさわ まさや	1966	チームケンズ
516	柿沼 正弘	かきぬま まさひろ	1952	
517	長田 浩史	ながた ひろし	1964	
518	堀越 和彦	ほりこし かずひこ	1969	日本学園トライアスロン部
519	境 勉	さかい つとむ	1963	青山トライアスロンクラブ
520	河内 康	かろうち やすし	1973	
521	小池 正彦	こいけ まさひこ	1964	アラコムRC
522	人見 克哉	ひとみ かつや	1963	ベアリスRC
523	小森谷 功	こもりや いさお	1963	
524	小林 充	こばやし みつる	1969	八潮トライアスロンクラブ
525	中野 悟	なかの さとる	1979	
526	玉置 真太郎	たまき しんたろう	1983	
527	中軽米 憲哉	なかかるまい のりや	1953	HTC
528	山田 浩司	やまだ こうじ	1963	チームケンズ

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
529	岡山 哲也	おかやまてつや	1968	
530	今井 英大	いまい ひでひろ	1974	i-storm
531	中野 伸一	なかの しんいち	1967	
532	小井戸 亮太	こいどりょうた	1987	
533	野口 和巳	のぐち かずみ	1975	
534	七五三掛 三津男	しめかけ みつお	1958	
535	関根 勝典	せきね かつのり	1977	サイクルワークスオオタキ
536	北島 明生	きたじま あきお	1954	横浜市役所水泳部
537	川崎 孝康	かわさき たかやす	1970	
538	中嶋 豊	なかしま ゆたか	1955	
539	米山 仁	よねやま ひとし	1971	
540	倉島 勝治	くらしま しょうじ	1955	
541	金子 英一	かねこ えいいち	1962	アヤトリアスロススクール
542	本橋 良祐	もとはし りょうすけ	1982	
543	金杉 昌明	かなすぎ まさあき	1970	
545	高瀬 純	たかせ じゅん	1972	
546	森下 義人	もりした よしひと	1986	

第6ウェーブ スプリントディスタンス【高校生女子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
601	高橋 実結	たかはし みゆ	2006	白梅学園高等学校 ロボスポーツ
602	中島 星南	なかじま せな	2004	L-Wing
603	江口 沙和	えぐち さわ	2006	#1-PRIMERA-

第6ウェーブ スプリントディスタンス【高校生男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
604	田中 大揮	たなか ひろき	2007	日本学園トライアスロン部
605	石川 忠男	いしかわ ちゅんなむ	2005	日本学園トライアスロン部
606	林 琉聖	はやし りゅうせい	2004	
607	小林 大洋	こばやし ひろみ	2006	東京都トライアスロン連合
608	加藤 龍之介	かとう りゅうのすけ	2006	日本学園トライアスロン部
609	ザン 愁真アレックス	ざん しゅうまあれっくす	2007	日本学園トライアスロン部
610	小山 森主	こやま もりす	2006	日本学園トライアスロン部
611	川村 俊介	かわむら しゅんすけ	2005	
612	油井 牧志	ゆい まきし	2005	日本学園トライアスロン部
613	筒井 和	つつい やまと	2006	日本学園トライアスロン部
614	山下 龍	やました りょう	2005	日本学園トライアスロン部
615	本木 蔵人	もとき くらうど	2005	
616	樋口 碧生	ひぐち あおい	2005	宮城県仙台第一高等学校

第5ウェーブ スプリントディスタンス【一般女子】

No.	氏名	よみがな	YOB	所属チーム
547	阿部 朋加	あべ ともか	2002	アクシートリアスロンチーム
548	中嶋 千秋	なかしま ちあき	1958	
549	打越 三紀恵	うちこし みきえ	1976	青山トライアスロン倶楽部
550	落合 理子	おちあいりこ	1982	

第6ウェーブ スプリントディスタンス【パラの部男子】

No.	氏名	よみがな	YOB	パラカテゴリー	所属チーム
701	牧田 真一郎	まきた しんいちろう	1977	TRI4	
702	福富 伸彦	ふくとみ のぶひこ	1979	TRI4	
703	多田 尚史	ただ なおふみ	1972	TRI3	acu-power Racing Team

第6ウェーブ スプリントディスタンス【パラの部女子】

No.	氏名	よみがな	YOB	パラカテゴリー	所属チーム
704	鹿沼 由理恵	かぬま ゆりえ	1981	TRI6	JPF

渡良瀬大会のスィムキャップとナンバーカードは下記となります。

カテゴリー	スィムキャップ	ナンバーカード	
		文字	地
第1ウェーブ (スタンダードディスタンス・一般男子44歳以下)	グリーン	ブラック	ホワイト
第2ウェーブ (スタンダードディスタンス・一般男子45~59歳)	ホワイト	ブラック	ホワイト
第3ウェーブ (スタンダードディスタンス・一般女子)	ピンク	ブラック	ホワイト
第3ウェーブ (スタンダードディスタンス・一般リレー)	オレンジ	ブラック	イエロー
第4ウェーブ (スタンダードディスタンス・一般男子60歳以上)	イエロー	ブラック	ホワイト
第5ウェーブ (スプリントディスタンス・一般)	ブルー	レッド	ホワイト
第6ウェーブ (スプリントディスタンス・高校生)	グリーン	レッド	ホワイト
第6ウェーブ (スプリントディスタンス・パラ)	レッド	ホワイト	レッド

最終確認

競技に必要な物・支給品

競技	各自持参	大会で支給(配付バッグ内)	大会で支給
スイム	●スイムウェア ●ゴーグル ●ウェットスーツ(選手権は当日6時時点の水温にて着用可否決定)		ボディナンバーシール2セット(配付バッグ内)
バイク	●バイク(スタンド、カゴ等装着不可※) ●ウェア ●ヘルメット ●ボトル ●サイクルコンピューター(推奨)	●ナンバーステッカー 2枚 (バイクサドル下の右側、ヘルメット前面に各1枚貼付) ●ナンバーカード 1枚(背面貼付)	計時用 アンクルバンドと スイムキャップ (入水前配付)
ラン	●ウェア ●シューズ	●ナンバーカード 1枚(前面貼付)	

※バイクのスタンドやカゴ等直接競技に必要なものはないものは、接触や転倒時の危険予防のため、予め取り外しをお願いします。

※ナンバーカードは選手権大会は1枚、渡良瀬大会は2枚配付します。(ナンバーベルトの使用を推奨)

※視覚障害のガイド用に各アイテム別途1セット用意しています。

受付時に支給品をご確認ください。(上記表以外：大会プログラム、協賛協力団体支給品各種)

スイムキャップとアンクルバンドは入水チェック時にスイム会場でお渡しします。

- アンクルバンドは左右どちらの足首に付けても構いません。アンクルバンドとスイムキャップ受領(入水チェック)後、入水者数を確定するため、スイムエリアから外へ出ることはできません。
- バイクのエイドステーションはありません。各自バイクボトルを事前にご準備ください(ペットボトルは落下の恐れあり使用禁止)。熱中症防止のため飲料水を多めにご用意ください。(水分を早め早めに補給してください。)
- アンクルバンドは貸与品ですので、リタイア時及びフィニッシュ時、必ずご返却ください。未返却・紛失の場合は実費を申し受けます。
- 本大会ではボディナンバーシールを使用します。肌の汗や水分をよく拭き取って、ワセリン等を塗る前に貼る等ご注意ください。



東京都のボート・カヌーなどの競技場
「海の森水上競技場」で開催!

海の森シリーズ
第1弾!

東海の森アクアスロン2022

第1回

World Triathlon
フォーマット採用
Run、Swim、Run
TMTU加盟団体
対抗戦あり!



写真提供：東京都

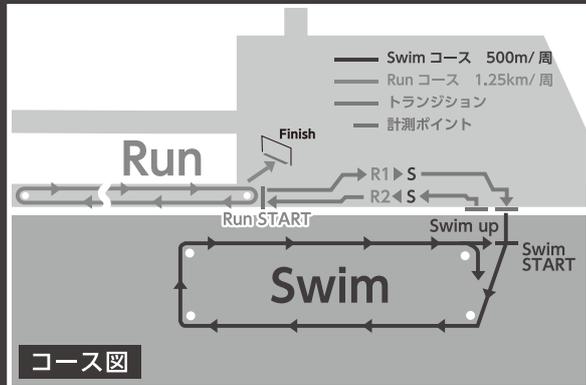


開催日 **2022年7月17日(日)**

開催地 **海の森水上競技場**

大会会場へは自動車での来場を予定しています

波は穏やかで
泳ぎやすい



申込締め切り迫る!
6/26(日)まで

主催：一般社団法人 東京都トライアスロン連合

エントリーは
こちらから

◎ MSPO

(大会ホームページ) <https://www.mspo.jp/uminomoriaq2022/>
(エントリーサイト) <https://entry.mspo.jp/?evcode=UQ22>

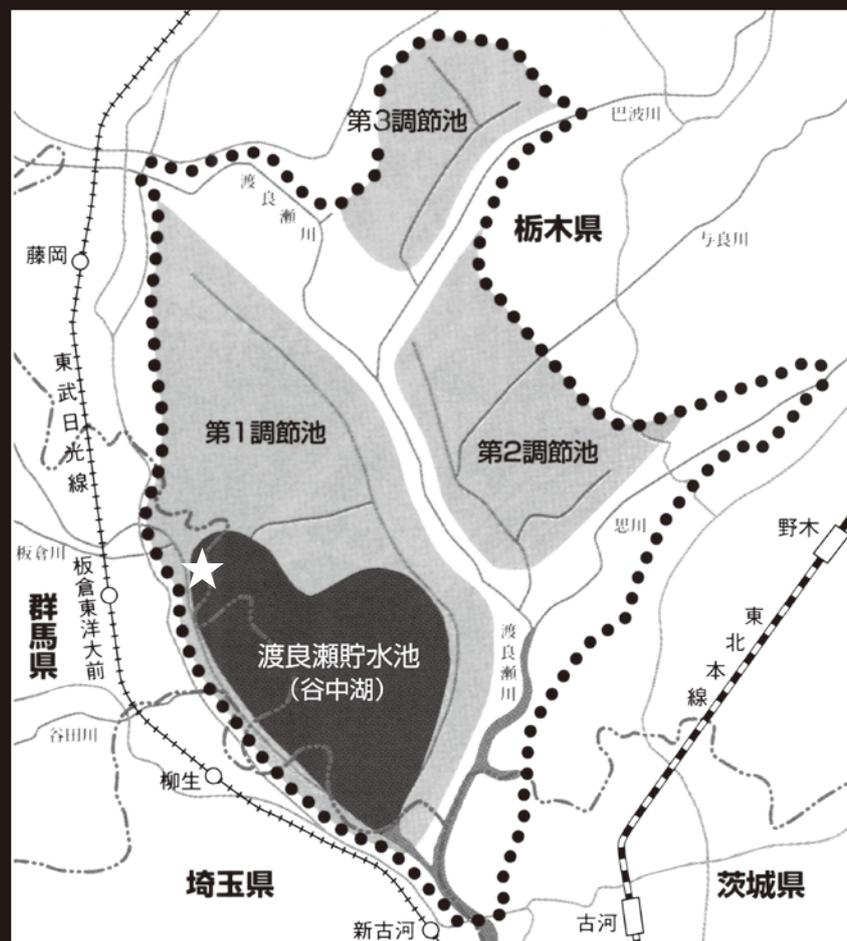
◎ ローソンチケット

(エントリーサイト) <https://do.l-tike.com/app/dss/race/detail?acd=mFizktJTuTI>



大会HP

渡良瀬遊水地全体図



渡良瀬遊水地 諸元

◆面積：約33km² ◆周囲延長：約30km ◆総貯水容量：約20,000万m³



一般社団法人

東京都トライアスロン連合

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-33-402 TEL.&FAX.03-6279-0572(月~金13:00~17:00)

【当日の緊急連絡先】 090-3313-8374(川添/TMTU) 090-9973-5744(大村/TMTU)
090-8807-0500(片倉/TMTU)